

# あだたら

九月十三日(月)・二十四日(金)

## 秋の僧悟台登山道整備

報告 □□□□ 編集部

第395号  
発行所 山部町  
山部町 山部町  
山部町 山部町  
山部町 山部町



9月24日(金) 7時57分、塩沢登山口

九月五日(日)は、秋の僧悟台登山道整備の日だった。笹は、秋に刈ると、翌年の伸びが押さえられると

の刈り込みが重視される(※1)。今年も九月の五日(日)に予定されていた。

●編集部連絡先  
二本松市部内1-515  
0243(22) 4245  
Fax可 渡辺 正

しかし天気予報だと雨、当日も予報通り雨だった。今年、日曜日は雨降りになる日が多く、厄介だ。

※1(竹のはなし、上田弘一郎、P三六六、PHP) 十一日(土)夕方、□□理事からメールがあった。

▼『毎度!、明日?と明後日、マズマズの天気のようなので十三日の月曜日に、僧悟台ルートの笹刈をしてこようと思っています。取り敢えず去年秋やり残した峠前後かな?』

十三日夜、八時三十九分に□□理事からメール。▼『毎度!、予定通り僧悟台ルートの作業を行い午後五時二十分無事下山。ザッと報告すると、八時四十五分、塩沢スキー場発(週末そこそこ忙しかったので足取りが重い)、十時十分、見晴岩、十時三十五分、僧悟台分岐、この時上空に防災ヘリ・医大の方に飛んで行ったかと思うと十分足らずで戻って来て箕輪を巻いて再び福島の方へ飛び去る。友人からITエンジニア有り、何やかやと二十分程話し込んでしまった(貴重な時間ロス)、一本松を経て更に登高を続け、十一時三十分峠近くに至り笹が被さって

きたのでここを起点に仮私作業開始。昼食を挟み十五時三十分までで何とか一本松近くまで刈りかいた。エンジンをかかけたまま見晴岩まであとこち刈り。十六時十五分下山開始。作業中、下山者が三人。リンドウが見頃(思ったより少ない)新しいエビフライが七、八個。トレランのせいか登山道は少々荒れ気味、水場上の階段は要修理。一人だと作業がはかどらない(刈って、かたづけが面倒で非効率)疲れた。』

九月十四日の役員会で、二十四日(金)に「秋の僧悟台登山道整備作業」を実施することとなった。

◆ ◆ ◆  
二十二日に、再度メール、作業についての説明。

▼『毎度!、二十四日の作業ですが、一本松の上部に脚の長い私でもよいしょって上がれない段差が有ります。いつもの笹刈作業に加えて、そこに一段だけステップを作りたいたいと思っております。必要と思われる道具 杭二本、ハンマー、番線、土留め板、土嚢袋は当方が用意しました。が土嚢袋を作る際必要なスコップ(小型型)が有りませんので用意できるのであればお願いいたします。尚、上記の道具類、私一人では草刈り機も有りませんので背負えませんが手分けして背負ってください。予定より少々遅れます

が八時頃にはスキー場に行けると思っています。』

□□理事から二十四日の報告も頂きました。

【参加者】□□、□□、□□、□□、□□(六名)、

▼『毎度!二十四日午前七時半、塩沢スキー場集合。晴れ・曇りが絶好の登山日和。階段を作るための材料や工具類、草刈り機を分担装備して七時五十分、□□(□)・□□(□)・□□(□)の四人が先行出発。別行動の□□(□)も出発。□□(□)は体調不良につき見送り、□□(□)は後発となる。九時三十分、見晴岩 喘ぎ喘ぎで一時間四十十分もかかってしまった。十時三十分一本松、十時五十分階段設置現場着、即作業開始。段差の大きいニヶ所に四人が手分けしてステップ作り。土嚢袋は二重にして敷設する。十一時三十分終了し、早めの昼食。十二時、刈払い作業開始、十三日の刈払い境にザックをデポして峠の先五十〜六十m先まで登高、下りながら刈払いを開始する。一時間毎に小休止と燃料補給。十四時四十五分、ザックのデポ地までの刈払いを終える。この間約二百mほどか?。十四時頃、□□(□)と合流。十五時、下山開始十六時四十五分、スキー場下山する。湯川渡渉部から



完成した階段



工事中(溶岩堤防添い)

上部の刈払い作業を終えた。□□(□)と合流後散会した。』

十月三日(日)  
**福島市民体育祭・登山の集い**  
**浄土平から、一切経山、姥ヶ原**  
 報告 □□□



一切経山頂、空気大感謝塔前

今年の「福島市民体育祭、登山の集い」は、昨年に引き続き、吾妻山浄土平に集合。但し今年は一切経山に登山、下って鎌沼を廻って、浄土平に下りるコースだ。今年も、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が九月三十日に全国で解除されたこともあり、混雑が予想された。だから八時四十分浄土平集合だったが、二本松は七時過ぎに出た。土湯峠、スカイライン入口、東吾妻登山口までは順調。兎平駐車場は出入口塞がる程満車状態。だがスカイラインに渋滞はなく

通過、浄土平駐車場入口で、三台ほどが順番待ち、高湯から上ってきた車と交互に入るためだ。三台くらいなので、何なく入場、五百円、八時ちょっと過ぎ。レストハウスの前あたりまで進んだ。スカイライン振り返った。土湯からの道、先程とは違って、桶沼入口当たりまで渋滞しているのが見えた。タッチの差だった。駐車場、舗装の場所は既に満車、天文台裏の舗装の無いところに案内された。それでも当会の他のメンバーは既に来ていた。今日の市

民登山の事務局も渋滞に巻き込まれたが、登山開始の九時には間に合った。一般参加者十六名、山岳関係者は二十名だ。風も無く日も照っていて、絶好の登山日和。浄土平の平地から、既に「シラタマノキ」の実が沢山ある。誰も取らないからだ。途中で取って食べたが、サロメチール臭は抜けていて、柔らかいリンゴ状態で逆美味しい。秋なのにイワカガミの花も見付けた。二株咲いていた。十一時四分、二時間程で一切経山頂「空気大感謝塔」。五色沼も綺麗。先月縦走した吾妻連峰縦走路「昭元山」「烏帽子」「ニセ烏帽子」「兵子」の各ピークが綺麗に雲で分かれて見えていたので撮影した。五葉松の銘木「日暮しの松」の平地も見えていたので撮影した。松の所在はGPSで探った。一等三角点の側に、「登山記念/福島石工口誠會/昭和四年八月十八日」という石碑見付ける。背面にも刻字有るのだからうけど返しはしなかった。居合わせた元会員□□さんにシャッター押して貰って記念撮影、十一時四十一分。十二時十六分には酸ヶ平に下りた。草紅葉が見事。このあたり木道の側に「クロマメノキ」一杯見るのだが、実が付いていない。暫く歩いて、鎌沼東端で、少し木道外れて「波打ち際」に下り

たら、その「クロマメノキ」には、実がそれこそ一杯付いていた。昔のとおりで、逆美味しい。側にいた親子連れにも教えた。おそらく木道沿いでは、毎年食べるの止めてしまったのかも知れないね。鎌沼廻ると、コバイケイソウの「種」が無数にある。足下には茶色に「枯れた」エゾリンドウもある。今年秋の到来が早かったのだから。姥神様には廻らなかった。鎌沼から離れて、浄土平への下りでは、遠くに小富士を回るスカイラインが見えるが、土湯からの道は大渋滞、浄土平駐車場に入れないのだ。十四時二十五分無事ピジターセンターに下山、解散。土湯ゲートへの下りで安達太良山が実に綺麗に見えていた。午後だし秋だから真正面からの光受けているわけだ。途中でウターン二回程やって撮影適地探して撮影した。全山紅葉とは行かなかったが大収穫、充分満足できた山行でした。



クロマメノキの実



解散の時の挨拶 14:25



コバイケイソウの種



イワカガミの花



一切経山頂からの 吾妻連峰縦走路

九月二十八日(火)

# 本宮市

## 幼児の家保育園ガイド

報告 □□□



本宮市、幼児の家保育園登山ガイド、昼食中

本宮市の「幼児の家保育園」から、ガイドの依頼が来た。園児・年長五名、引率三名だけ、ガイドは一名。お願いしたいという話。その後ろをびびりつつついて



山頂到着、10時46分

来る子供がいる。立ち止まるとぶつかる位だ。そんな子は二人くらいいて、競争で付いて来る。なので出来るだけユックリ歩く。木道の終わり頃「シラタマノキ」があった、食べさせることはしない、潰して臭い嗅がせた。サロメチール臭薄かったので、子供は分からなかったが、引率は分かった。引率の先生は分かってくれた。その上には「ツルリンドウ」、赤い実のネックレスも出来ていた。最初の休憩は仙女平分岐、黄色い「ナナカマド」は、今年も健在で、一杯実を付けていた。引率者先生達だけ。子供達多分保護者いないので、更に元気がする。樹木坂の壊れた階段も平気で軍手はめた手を使って登って行く。十時四十六分には山頂着、二時間ほどで登ってしまった。山頂風が強かった。記念写真撮影だけで少した下って、小屋分岐向当たりの平場で昼食。ちゃんとザックからシート出して敷いて、靴脱いで上がって、昼食出して食べている。昼食終えて下る。走り出して直ぐに私を追い越してしまう。そういう子は連れ戻す。樹木坂の壊れた階段で、転んでしまった女児がいた、痛かったら涙にじんんでいた。立たせたらちゃんとした。歩けそうなので其の儘歩かせた。ロープウェイ駆込ちゃんとして下山した。最後は飛び跳ねていた。十四時には無事奥岳まで下山、挨拶して分かれた。小学生をガイドした経験は何度もあるが、保育園児の方が手が掛からない、おそらく人数が少ないからだろうとは思っただけだ。

九月二十六日(日)、十八時十八分、市役所生活環境課□□さんから電話。遭難発生、出勤依頼ではないが、可能性は有るとい連絡。道案内必要かも知れない、一、二名の待機の要請だ。遭難者は八十代の夫婦。道を外れた。連絡は付いていて十九時頃山頂で合流しようという話になっている。警察は既に出動している。その後は下山かくろがね小屋に行きたいらしい。会長に連絡、当面□□だけの待機とする。電話終わって山行支度、水汲んだりウェア出したり、ヘッドランプ準備したり。十八時五十八分、生活環境課□□さんから連絡、十八時三十分前に、警察と遭難者合流、下山中だという。早速会長に連絡、待機は解除となっ



2021-10-03 スカイラインからの安達太良連峰

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

【一時遭難】27. 27. 26日午後2時45分ごろ、郡山市熱海町石冠の安達太良連峰和尙山付近で、下山中だった札幌市の80代男性と70代女性が道に迷い、110番通報した。郡山北署、二本松署などが捜索し、午後6時20分ごろ、安達太良山山頂付近で2人を救助した。(郡山北署)

た。(実はこの日、まだお酒飲んでいなかった、若し飲んでいたら、どなたかにお願いしなければならなかったのだ)。  
二十七日□□理事からメール。昨日の夕方、四時半頃だったかに県警のヘリが飛来して和尙から鉄山のあたりを旋回を繰り返していた。その時、我が家から望めるはずの鉄山山頂部は濃いガスの中だった。(一五〇〇mから上)間違いない、山で何かあったなど思って見ていたら五時頃になって和尙の方に飛んで行ってそのままになった。今朝の民報で納得。』

◆登山道整備は、原則休日、日曜日です。仕事をもちの方にも出来るだけ参加して頂きたいからです。ところが昨年今年と、日曜日、雨降りが多いようなのです。中止にして、別の日、といった通り別の計画があることが多いので、平日に計画することが多くなりま

◆最近、寝ている時「こむらがり」起こすことが多くなった。太い針を刺されるようで、痛くてたまらな